

ハングル語講座

異文化理解や多文化共生社会づくりの一環としてハングル語講座を開催します。

【と き】4月6日(木)から毎週木曜日

午後6時30分～9時30分

前・後期合わせて32回

【ところ】大韓国民団三重県伊賀支部
(上野忍町2691-1)

【内 容】

「初級クラス」：ハングル語の発音、基礎講座

「中級クラス」：会話を中心とした講座

「ゼミクラス」：ロールプレイを中心とした講座

【受講料】各クラス2万円

【申し込み】※随時受け付けます。

大韓国民団三重県伊賀支部事務所 ☎22-2043

【問い合わせ】本庁文化国際課 ☎22-9624

伊賀市スポーツ奨励賞授与！



2月28日、市のスポーツの振興に寄与し将来の活躍が期待されるとして、上野工業高等学校陸上競技部高林祐介くんが伊賀市文化表彰規則制定以来初めてとなるスポーツ奨励賞が贈られました。

高林くんは、昨年のインターハイで千五百メートル(3分49秒63)で優勝、おかやま国体では少年男子A、五千メートル(13分56秒98)で5位入賞するなど輝かしい成績を収めました。

4月から駒沢大学に進学する高林くんは「高校生活で学んだことを忘れず大学生活を送りたい」また、受賞の感想について「高校生活を送った地として、すごく愛着がある。光栄です」と話してくれました。

水道水の水質検査計画と検査結果を公開しています

市では、平成18年度の水道水質検査計画を作成し、水質検査計画と水質検査結果を公表しています。

また、伊賀市ホームページ(<http://www.city.iga.lg.jp/>)でも公開していますのでご覧ください。

【問い合わせ】水道部施設課 ☎24-0002

チャイルドシート購入費補助制度の対象者について

3月号に掲載の「チャイルドシート購入補助制度を廃止について」の対象者につきましては、下記のとおりですのでご注意ください。

【対象者】平成16年11月1日から平成18年3月31日(補助制度の終了日)までの期間に出生した乳幼児の保護者

【問い合わせ】本庁市民生活課 ☎22-9638



行政職員の「人権感覚」

1992年(平成4年)8月に起こった旧大山田村議会議員の部落差別発言事件は、表面的には平和で、差別等の人権・部落問題とは無縁と思いついていた当時の役場職員には大変衝撃的な出来事でした。差別撤廃を目指す運動団体や、人権・同和教育をライフワークとして真剣に取り組む教職員が多く参加し、学習会を何度となく重ねて、職員意識改革の取り組みが遅まきながら始まりました。最初、役場青年部が被差別の声を我がものとするべく、聞き取り学習や様々な部落問題研修会に参加していききました。また青年部独自に研修会を企画・運営しながら行政職員としての資質向上に努力してきました。

しかし、毎年行われる人権啓発地区別懇談会では、助言者として場に臨んだ職員等が住民からの意見や質問に的確に答えることが出来ず、参加していただいた方々に迷惑を掛けることが何度もありました。反省会の場では、自らの不甲斐なさを率直に振り返る職員もいれば、理詰

明日に向かって

～差別をなくしていくために～

伊賀市誕生後1年5カ月、職員は「今、伊賀市にある差別の現実」から深く学び、市民の皆さんが本心に安心して暮らせる、まさに「ひとが輝く、地域が輝く」伊賀市とするために、まずは職員一人ひとりが自らの人権感覚を磨き、積極的に人権・部落問題研修に参加することが求められています。各地域で行われる研修会に率先して参加することはもちろん、皆さんの参加を促すような取り組みも必要です。

かつて、大山田村職員が遅ればせながら差別事件に関わる中で気付かされてきた「啓発の大切さ」「同和教育の必要性」は伊賀市発足後も支所職員研修等の場で、繰り返し話し合われています。行政職員として差別をなくす主体としての責務を果たしたいと思えます。市民の皆さんと共に差別のない伊賀市を目指して…

(大山田支所人権同和課)

健康だより

絵本の読み聞かせ

はじめてみませんか？



本庁健康推進室
保健師 山田 順恵

読み聞かせとは、主に乳幼児期の子どもに対して、絵本などを見ながら音読する行為をいいます。乳幼児期の情操教育・文字の取得などに効果があるとされています。

■読み聞かせの効果

テレビやビデオと違い、主体的に働きかける必要のある絵本。絵本を読み聞かせることは聞く力、話す力を育て、ことばからイメージする力を育てます。また、絵本を共有することで読み手と聞き手のふれあいがあります。

絵本には普通の生活ではあまり使われない「きれいなことば」がたくさん使われています。伝えたいことはたくさんあるのに、ことばが貧しいとうまく伝わらないことがあります。子どもは絵本から得られる豊かなことばにより、相手に自分の伝えたいことを伝えることができるようになります。

そして、絵本を読むことによって、絵本の内容をまるで自分が経験したような気持ちになり、実際には経験できないことも絵本を通して経験でき、創造力が広がります。

絵本を読み聞かせることは、以上のようにいろいろな効果を期待することができますが、それよりも読む人と読んでもらう子どもが絵本を一緒に楽しむ時間を持つということが一番大切なことだと思います。

■読み聞かせの仕方

読み聞かせのポイントは、ゆっくりと子どものペースで読むことです。自然に感じたまふ淡々と読みましょう。読み手が感情移入しすぎると、子どもの想像の幅を狭めてしまいます。

また、絵本を学習のためには使わないでください。絵本は楽しむものです。絵本の内容を尋ねたりすると、子どもは聞かれそうなことを注意しながらお話を聞くようになります。それは、本嫌いの原因にもなります。

■絵本の選び方

子どもの好きなものや好きなことの絵本、一緒に遊べる絵本、読み手の好きだった絵本、気に入った絵本などを選んでください。

また、図書館で絵本を借りて参考にすると失敗なく気に入った絵本を見つけられるかもしれません。

伊賀市では5～7カ月の乳児を対象にブックスタートを実施しています。ブックスタートでは、絵本を通して赤ちゃんと保護者が絵本を開く楽しさを体験していただいています。

ぜひ、参加していただき、絵本の読み聞かせのきっかけにしてください。対象者の方には通知します。

* 4月からブックスタートの実施場所が伊賀医師会館(四十九町)になります。



麻しん・風しんの予防接種の受け方が変わりました

平成18年4月1日から、麻しんワクチンおよび風しんワクチンの予防接種が「麻しん風しん混合ワクチン」の予防接種に変わりました。対象となる方はご注意ください。

【麻しんワクチン・風しんワクチン】

麻しんおよび風しんの単ワクチン接種は、平成18年3月31日で終了しましたが、平成18年度に限り、次の場合のみ公費負担します。

① 麻しんまたは風しん予防接種のどちらか一方を済ませてある1歳代のお子さんで、保護者の希望により他方のワクチンを実施する場合

② 麻しんまたは風しんにかかったことのある1歳代のお

子さんで、保護者の希望により、かかっていない方のワクチンを接種する場合

なお、2歳以上になるお子さんは公費負担での接種は受けられません。(保護者が希望すれば自費での接種は可能です)

【麻しん風しん混合ワクチン】

平成18年度の麻しん風しん混合ワクチンの第2期対象者は、平成12年4月2日から平成13年4月1日生まれで、麻しんおよび風しんワクチンともに未接種の方のみです。

麻しん風しん混合ワクチンの予防票は、伊賀市内の予防接種実施医療機関に備えてあります。市外での接種を希望の方は、予防票をお渡しますので、ご連絡ください。

【平成18年3月31日まで】							
ワクチン	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳
麻しん ワクチン			1回(1~7歳半)				
風しん ワクチン			1回(1~7歳半)				

混合ワクチンによる
2回接種になりました

【平成18年4月1日以降】							
ワクチン	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳
麻しん 風しん 混合 ワクチン		第1期 1回 1歳代				第2期 1回 5~6歳代で 小学校就学前 の1年間	

【問い合わせ】

本庁健康推進室

Tel 22-9653